

教 材 紹 介

— 国語科 —

ふるさとの文学探訪

— 昔話と伝説 —

No. 3 「安寿と厨子王」の物語

身近な地域にまつわる文学を教材化することは、児童生徒に文学的文章教材の興味や関心を起こさせるのに効果的である。

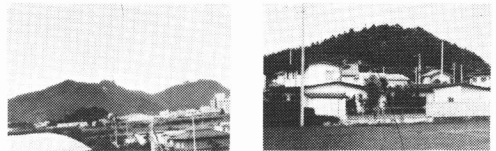
そこで、「昔話や伝説」の舞台になっている、教育センター周辺のあちこちをおとずれてみた。



つばきだて
椿館（弁天山）

椿館には、森鷗外の小説「山椒大夫」でも知られる「安寿と厨子王」が住んでいたと伝えられている。

No. 4 信夫の三狐

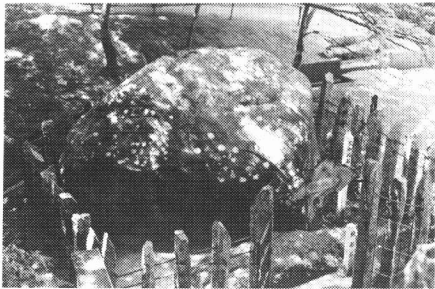


信夫山と石が森

一盃森

石が森には加茂衛門狐、信夫山には権坊孤、一盃森には長次郎狐が住んでおり、人間との交流の物語がさまざま伝えられている。

No. 1 河原左大臣源融と虎女の恋物語



もちずりいし
文知摺石

虎女は、文知摺石に、恋人源融の面影を映しみたと伝えられる。

No. 2 「王老杉」の恋



王老杉



きさききばし
密語橋

土地の豪農の娘「おろす」と杉の精の恋物語。

昭和60年 8月19日印刷

昭和60年 8月23日発行

発行所 福島県教育センター

福島市瀬上町字五月田16

〒960-01 ☎53-3141

編集兼 折 笠 常 弘
発行人

印刷所 (株) アート印刷

☎(0245) 23-4475